

平成 27 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 27 年 10 月 9 日（土）

開会：午後 7 時 00 分 閉会：午後 8 時 30 分

場所：北大社

参加者：男 29 人、女 6 人 計 35 人

町職員：町長、副町長、総務部長、財政課、町民課、政策課

《 懇 談 》

男性 長男が奈良のほうにいており、私も高齢になりましてせつかく農地がありながら荒地になってしまうのではないかとこの心配があります。なにか農地を活性化するような事業は考えてお見えですか。息子が帰ってきてても何をしていいかわからないというのではいけませんので。畑を利用した産業はできないものでしょうか。

町長 さきほど少し触れさせていただきましたが、長深のパークレジデンスの横は元々畑地でしたが荒地になっていました。それを耕作放棄地対策の補助金を国からもらい畑地に戻しました。そこを一部利用して、ぶどうやブルーベリーを植えて 5 年計画で取り組んでいます。成功したら民間・農家に移転していきます。そのほかの部分は名古屋の学習塾が子どもたちの体験農業用にサツマイモやたまねぎなどを植えて自分たちで収穫しています。今年からはまだ余っている土地 3 ヘクタールを農福連携として町で借りて障がい者の働く場所になりました。まだ 4 人ですが来年には 10 人を目標にしています。今では耕作放棄地が復元されて畑として機能するようになってきました。東員町は他市町に比べて少ないですがこれからも耕作放棄地が出てくるかもしれません。そのようなときは町に相談していただいて、何か考えていかなければいけないと思っています。耕作放棄地になりそうな土地がお金を生む土地になるような取り組みをしていかなければいけないと思っています。現在長深の耕作放棄地では農業をしていた方に協力していただいています。皆さんにも助けていただき活用をともに考え、お金を生むような取り組みを考えていかなければと思っています。もし何かありましたら耕作放棄地になる前にご相談いただければと思います。

男性 私の畑はバトンタッチしようにもできないので、放棄地になってしまうと思うんです。そうならないような方策を打ち出してもらえればと思うのでまた考えてください。

政策課長 今、自分の畑がうまく引き継がれていかないというお話をいただきましたが農業のことも、農産物をうまく販売できないかという話でも結構ですので何かいいアイデアがありましたらお願いします。

町長

考えていただく間にひとつよい数字をお知らせしたいと思います。三重県の保健環境研究所というところが出した数字です。桑員地区の医療についてですが、平均寿命に関していうと東員町がほぼ一番いい。しかも健康寿命がいい。特に男性です。東員町の男性の健康平均寿命は83.2歳。この地域の先輩方はすごい。女性は平均寿命87.7歳、健康寿命は82.5歳。男性よりはちょっと低い、そんな数字が出ています。

また、何が原因で死亡したかという率が出ているんですが、がんで死亡した人の割合は木曾岬町の3分の2くらい。急性心筋梗塞などほかの病気もすべてが一番少ない。東員町の人健康で活躍してもらっている。これからも元気にご活躍いただければと思います。

何かご質問・ご意見あればどうぞ。たとえば一昨年上げ馬を題材にしたミュージカルを見ていただいた方もいるかと思います。ものすごく盛り上がりました。やはり大社祭が題材であるということで、たくさんの人でにぎわい、なぜもっとやらないのかとお叱りを受けるほどでした。また再来年にやりたいと思っています。再来年は町政50周年を迎える年となり、やはり題材になるのは大社祭だろうと思っています。東員町を代表する祭りであることは間違いないので、もう一回やりたいなと思っています。大社祭を題材にしたミュージカルは大好評でしたので、願わくばこれを機に何かお金が生まれる、地元にお金が落ちる仕組みがあれば、この地域ももっとみんなが楽しく暮らせるのではないかと思います。

男性

私はこの東員町は災害に強い地域と思う。この災害に強い地域をもっと盛り上げるにはどうしたらよいか考えたときに、すぐにできることではないですが、福祉の町ということで売り出していきたいと思う。高齢化も健康寿命もどんどん延びて年寄りがいっぱいになったらどうしようと考えたときに、東員町にはすばらしい福祉施設があるんだよと、そうした場合東員町は儲かるのかなとは思っているのですが。津波も来ない水害もない、みんなの憧れの土地になるのではと思います。

町長

たとえばサービス付き高齢者住宅だとかある程度健康な方のための施設ができることはありかなと思います。私ももし年をとるなら健康に生きたいなと思います。皆さんのように健康に生きることを考えないといけない。幸いさきほどの数字をみると健康寿命がものすごく高い。生きがいを持って生活をしていただいているのではという気がするのです。たとえば東員町の文化度はものすごく高い。いろいろなところでたくさんの人に活躍していただいています。私が就任してから役場のロビーの一角で町民ギャラリーを始めました。町民の方に1ヶ月展示してもらおうのですが今では半年待ちです。いつもいいものを展示してもらい、みんなに見てもらい、町外から来た人がびっくりして帰っていきます。すごくレベルの高い活動をしてもらっていることが健康寿命につながっているのではないかなと思います。

男性 東員町は素晴らしいところだと四日市の友達にうらやましがられる。以前、中部公園を造るときに反対もあったが、大きな公園があつて高齢者が住むには最高だ、うらやましいといわれる。この公園を使って将来まちづくりをし、地域で暮らしたいと思えるような町政をしてほしいなと思います。

町長 あの公園は若いお母さん向けの雑誌で2回1位をいただいています。ピークのときには年間30万人の方に来ていただきました。いつも仕事をしていると外から子どもたちの声がしてすごく楽しくなってくる。今日の会場にも若い方が見えますが中部公園はどうですか。あまりいかないですか。

女性 いったことあります。楽しいところだと思います。

町長 町外の方もいっぱい来ていただいているんですね。お子さんができたらぜひ一緒にいっていただきたい。お母さん方の社交場になっているようなところがあつて町外の方からも、とてもいいといただいている。北大社は近いですからたくさん利用してください。

中部公園に何か足りないと感じたことはないですか。

男性 よそのパークゴルフ場ですが、そこは町外の方が利用すると高い。東員町のパークゴルフ場は一緒の値段なので人気がありますね。昔からあげてないから同じ料金で入れる。こんないいところはないと言われます。

町長 町民の方からは町内・町外の利用料に差を設けて欲しいともお聞きします。

政策課長 どんなご意見でも結構ですのでどうぞ。たとえば木村先生の幽静館とかありますよね。町の施設ですが実際の管理は自治会さんにお任せしている。何かあの建物を使うアイデアはありませんか。

町長 せっかくの施設なのでみんなに来てもらえるような施設にしたい、何か活用の方法はないかなと考えてはいるのですが、地元の方の知恵で何かありませんか。あそこからの見晴らしはすごくよくていい場所だと思うのですが。

男性 とういんあーちという施設がありますよね。障がい者に強いまちづくりもいいのではないかなと思います。80歳まで健康に過ごしてきましたが、同じ命をいただきながら障がいのためになかなかみんなと同じようには楽しめない人もいます。だから障がい者の方にも大社祭の遊歩道みたいなものをちょっと作ってもらって、みんながいっしょに楽しめる大社祭をするのはどうかなと思います。それで幽静館までずっと遊歩道を作ると散歩ができる。そんなまちづくりはいかがでしょうか。

町長 すごく大切な視点だと思います。東員町はまだまだバリアフリーになっているとは思えませんので、そういう視点でいろんなものを見るのは大切だと思います。祭りもそういった視点で見たときに、みんなで楽しめるように我々も何とかしていかないといけないなと思います。そういった環境を整えるのは行政の役割だと思います。

男性 この構造改善センターを利用してコンサートをするのはどうかなと思います。

町長 いいですね、北大社でやってくださいよ。神社を利用してやるのもいいですよ。

男性 お金がかかりますよ。

町長 お金はかかるかもしれないですが、できるだけかけないでやれないですかね。
または、ある程度入場料が取れるコンサートなら、お金がかかってもいいと思うんですけどね。出るのと入るのとのバランスですから、お金がかかるのなら、しっかりと収入が取れるように、コンサートにお金をかければいいと私は思います。

男性 私の構想としてはね、東員インターができるからインター降りてすぐ入れるような文化財をPRする施設があればなど。イオンもできたし、観光でどんどんお金を落とすって貰えるような観光施設を作ったらどうかなと思います。

町長 アピールするものをまず作っていかなければならないのかなと思います。我々も努力しますが、皆さんにも知恵をいただいて前向きに進めていきたいなと思います。
最後に自治会長さん何かありましたらお願いします。

自治会長 この4年間、自治会運営に携わらせていただいたのですが、大社祭とか高齢者の問題とかいろいろあるんですが、直面して何とかしなければと思うのは、実は買い物難民のことなんです。ここ北大社にもこれから老夫婦でお住まいになる方がたくさんでくるわけです。ちょっと行けばイオンだとかあるじゃないかと皆さん言われるんですが、そういう方とお話しているとそこへ行けるならどこでも行けるよ、そこまでいけないから大変なんだと言われる。そういう方が少しずつ増えてきています。特に北大社はこれから老夫婦が増えて、若い人たちは外へ出ていく。大社祭があるから活発だといわれますが、大社祭は歴史があつていいのですが、安全に対するリスクが大き過ぎる。皆さん簡単にいわれますが、その点がネックになってきています。お金はほぼすべて安全面に使おうと話しているのが現状です。歴史的にそういうものがあるから若い人が戻れない。どこの自治会も同じだと思いますが、北大社の人口も下がっていましたがここ数年人口が増えて、自治会にもすべて入ってもらいましたが、新しく入った方のご相談は全部お祭りのことでした。これからどうしようかなと思ってい

ますが、諸先輩方に守ってきていただいたわけですから、全力投球でいきたいと思
います。町のほうからもひとつご協力をお願いします。

町長

買い物難民は日本中でも1,000万人に迫る勢いで増えています。確かに東員町
でもそういうことがあると思います。

特にこれは北大社・南大社の皆さんにお世話にならないといけない話ですが、東員
駅の周りをみんなが集まってくるような拠点にしたいと思っています。そこにお年寄
りも若い人も集ってそこにいけば、日常生活に困らない程度のもがあるという風に
できたらと思っています。

しかし農地法とか都市計画法だとか規制があるので、規制緩和のため知事などと話
し合っています。なかなか難しい問題ですが、将来の東員町のことを考えたときに駅
周辺を整備しないと、町の将来はないのではないかと危機感を抱いています。皆さん
の協力を得ながらコンパクトなまちづくりをしていきたいと考えています。そして近
いとはいえ、北大社からもそこへ行く仕組みを何か考えていかなければならないと思
っています。

ご相談しないといけないこともたくさん出てくると思いますが、これからもよろし
くお願いします。